

いつも安全でおいしい水を **水量・水質管理**

みなさんの家に安全でおいしい水をとどけるために、毎日きびしい検査や監視など、いくつものチェックをしています。

さまざまな装置で水を毎日検査します

浄水場・水質管理センター

水の中に含まれているものをくわしく調べることができる装置で、水の安全性やおいしさを毎日欠かさず検査しています。



水質試験室

バイオアッセイ装置



水質の変化に

びんかん魚(ヤマメ)を使い、その動きを観察して、水のじょうたいを調べます。

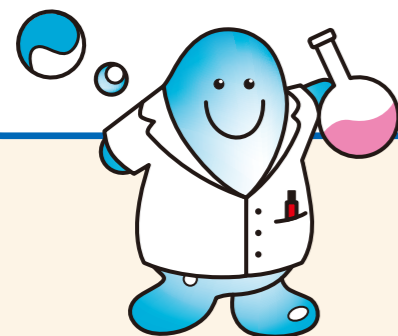


さまざまな装置



人の健康に影響を及ぼす物質など、法律で決められている51の項目やその他の項目を調べています。放射性物質も測定していますが、これまでに見つかったことはありません。

もっとくわしく



大切な水源を見守っています

水源パトロール

水道水のもとになるダムや川の水が汚れていないかパトロールを行っています。

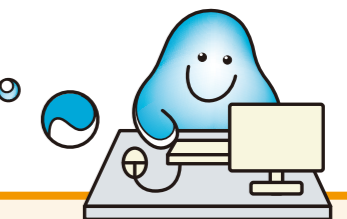


24時間休みなく水を監視します

配水センター

札幌市全体の水道水の流れや水道施設に異常がないかなどを、コンピューターを使って人が24時間休みなく見守っています。

24時間365日、交代で働いています。



水の安全を守る『塩素』

水道水の中には、ほんの少し『塩素』という成分が入っています。塩素は、水を消毒する役わりをしていて、安全な水にするために欠かせないものです。

もっとくわしく



水道水のおいしさのひみつ

札幌の水道水の水源はほとんどが国立公園などの森林に囲まれていて、雨や雪解け水が水源の元となっています。

この雨や雪解け水が森林の地中を通る時に、おいしさにつながるミネラルを適度なバランスで含むようになります。また、水道水の元となる河川の水質が良好なことや水温が低いことが水道水のおいしさにつながっています。

